

有宵会だより

第46号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による

八月・九月の運勢

気学では申八月

八月七日(立秋)節入り

1	6	8
9	2	4
5	7	3

破

生 気
ア
天 道

気学では西九月

九月八日(白露)節入り

9	5	7
8	1	3
4	6	2

破

天 道
ア



一 白水星の人の運勢

八月筮一水雷屯の初九

九月筮一風天小畜の初九

八月は平穏ですが気遣いが多い。お盆月で法事墓参で心を癒やすとき。仕事は協力者のお陰で成就する。生活用品や贈答品の消費あり。楽しい話題と美食に開心。寝冷え腰痛、胃腸、聴覚に注目。相変わらず九月も忙しく気疲れが残る。家庭は女性上位で荷が重い。頼まれ事は急ぎの用から処理長引く問題は出費が続くのでセーブを。疲労、消化不良、頭痛、持病用心。

二 黒土星の人の運勢

八月筮一天山遯の九四

九月筮一震為雷の六五

八月は暑さに負けず体調維持。生活スタイルを変えず安定図る。知人や親戚付き合いで複雑さを含むので慎重に。仕事は独断で進めず協調有益。財布は中身の確認。夏風邪と咳、胃炎、血圧対処。

九月は活気づくが何事も早めの処理を心掛ける。目上や上司と意見の相違に对立用心。嫁姑・夫婦は仲良しは会話と笑い顔。家具電化品消費。気管支肺、頸肩こり成人病対処。

三 碧木星の人の運勢

八月筮一沢風大過の九三

九月筮一沢地萃の初六

八月は予想以上に忙しい、無理をしないで気楽に進める。仕事は準備がモノを言い予定の軌道に乗れば安心。衣食と交際費に散財が多い。下旬は油断大敵です。体調は視力と歯、足腰、疲労注意。九月は肩の荷を降ろして楽をする。自由な気分を外出が面白く心配事は軽く済む。人情味と贈り物をいたたく嬉しさや母や姉の権威が強い。のど歯口腔、胃炎、関節用心。

四 緑木星の人の運勢

八月筮一坤為地の六五

九月筮一地火明夷の六一

八月は忙中に閑ありで

五 黄土星の人の運勢

八月筮一巽為風の九三

九月筮一沢雷隨の九五

八月は自信強く進むと失敗をしやすい。慎重運です。情報の誤りを確認し轍を踏まないこと。家庭の和は対話から、親戚付き合い軽く深入りさせる。高額品は慎重支払いを。足腰、胃腸、慢性病再発。九月は忙しく順調、仕事は強調して結果良し、意地張って睨み合うのは愚かなこと。創意と研究の成果が楽しみ。収支は管理が大切。自然気採取目と歯、心臓血流を対処。

六 白金星の人の運勢

八月筮一風沢中孚の九五

九月筮一火山旅の初六

七 赤金星の人の運勢

八月筮一地水師の六三

九月筮一雷山小過の六五

八月の運氣は小康を保つので静かに待機。このまま仕事は現状維持で野心は持たずに。周辺の人から頼られたら人情で受ける。金銭貸借は断り食事御馳走を。寝冷え、頭痛、気管、熱中症用心。九月は夏バテの心配あれば早めに対策を。諸事平凡でも無事に過ごす喜びです。部屋の整理整頓、家族に喜び、外部に不祝儀あり。体調は疲れ、胃腸、筋肉痛の処置。

八 白土星の人の運勢

八月筮一乾为天の九二

九月筮一離為火の上九

八月は比較的ゆつくり過ごし安閑、公的の手續きについては先手を取ることに。善意の仲裁でも両者に解らず。目先にこだわらず大局判断が転ばぬ先の杖。家計節約。ストレス、胃腸、持病の対策。九月は所用が続き外出増です。交渉や依頼事は中断しやすい、調子に乗らず時機を待つ、始め良く終り悪しに注意。勘定ミスあり確認を。寝不足神経、皮膚、疲労回復を。

九 紫火星の人の運勢

八月筮一沢火革の九三

九月筮一水風井の九五

八月は心身共にスッキリさせたい気分、暑気払いは爽やかに。運氣は本年下半年になり好転の兆しあり。雑事が多く家族と健康面に気を遣うでしょう。有り金は出ていくので待ったをかける。風邪気管と足腰に用心を。九月はお彼岸を越す頃に安定運です。人から慕われ心温まる交わりからの喜び。墓参は安らかな落着きを得て吉。祭礼や旅行計画は最良。のど風邪、消化不良の予防。

福田 有宵

五月有宵会報告

半田 晴詠

五月二十八日(土)足立区こども家庭支援センターにて、NPO法人岳易館・有宵会が開催されました。佐藤宗眩先生司会進行のもと、第一部・牧野有峰先生による「三元九星掛り法」第二部・黒江真帆先生による「老後と認知症」のご講演。第三部・福田有宵先生による「易と気学から六月七月の運勢判断」のご教授を頂きました。



第一部 「三元九星掛り法」有峰会会長 牧野有峰先生のご講演

この占術は、お配りしました資料にありますように「天源術」という「運命学の中にある」「三元九星の占法」を占術として

編成したもので、天源術というの人間が天から

稟ける気の本源にさかのぼって、その構造を解明しそこから生じる運氣を究明する学術という意味で、この運命学の成立については、古来いろいろと説があります。(以下詳細は資料を参考にしてください)

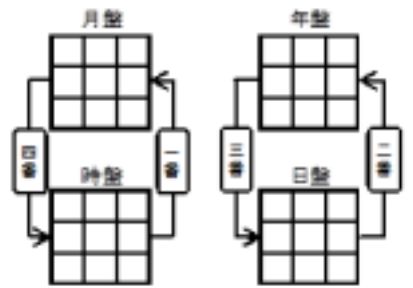
三元とは何かといいますが、気学でいう上元・中元・下元とは違います。これは生れ星によって問題を解決していく占術で八門遁甲の一法です。現在の皇居も風水によって守られていると言っても過言ではありません。

北(玄武)は高い山に囲まれ、南(朱雀)は昔江戸湾(東京湾)があり、東(青龍)は東京湾から流れてくる川、西(白虎)は甲州街道があり地形が非常に良く守られているということなのです。

これらは天海大僧正が大成した天源術・八門遁甲の秘法によるものと言われています。

- 掛り法は、
- 一番は時盤から月盤
 - 二番は日盤から年盤
 - 三番は年盤から日盤
 - 四番は月盤から時盤

の順です。



一番二番は過去から現在、三番四番は現在から未来という具合に判断、鑑定のポイントとします。

また、一番二番は目的三番四番は結果ともみまします。一番大事なのは時と日です。この掛けが終りましたら、掛かった宮がどんな星と同会しているかをみます。三元九星は

例えば坤に掛かったらその坤宮という宮の意義とそこに同会した九星の星の象意とを合わせて判断します。

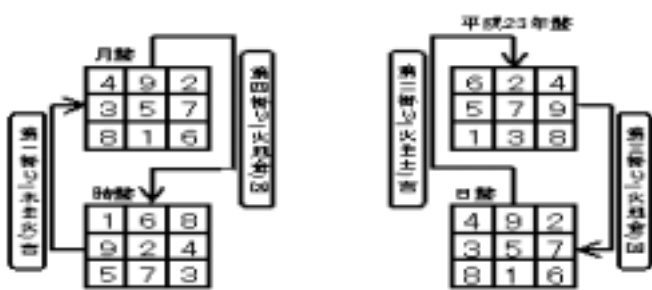
- 次に九星の五行からの吉凶を三つに分けます。
- (一) 相生は大吉
 - (二) 比和は中吉
 - (三) 相剋は大凶になります。
- 三元九星は気学でいう

暗剣殺や破れは使いませんが、私の経験から入れて判断した方が良いと思います。

天盤は九勢(きゆうせい)とみて、その勢をみます。一番は東南(巽)と東(震)で北(坎)や中央(中宮)は良くありません。

例題で時の政治家を鑑定したいと思います。

昭和二十一年十月十日生
本命星 九紫火星
月命星 六白金星



今年七赤中宮で九紫は兌宮。五月は五黄中宮で九紫は離宮。今日二十八日は五黄中宮日で九紫

は離宮。現在の時間は十三時十五時で二黒中宮。九紫はやはり震宮。これを第一掛りから掛けていきますと、第一掛りは時の震宮から月の震宮三碧、第二掛りは日の離宮から年の離宮二黒。第三掛りは年の兌宮から日の兌宮七赤。第四掛りは月の離宮から時の離宮六白となりこれを五行でみますと、

第一は九紫と三碧で大吉
第二は九紫と二黒で大吉
第三は九紫と七赤で大吉
第四は九紫と六白で大吉
これを次の様に判断します。

第一は過去から現在で九紫は東にあり震宮の意義と三碧の象意から、進出、発展を意味し素晴らしい発展とみます。

第二は離宮の意義と二黒の象意から大吉です。妻や女性、又家庭などからの援助があり名誉を得たとみる事ができます。

第三は兌宮の意義と七赤の象意をみると大凶です。背反や言葉のトラブルが生じているとれます。

今後も困難があると思われれます。

次に球界の斉藤祐樹投手です。

昭和六十三年六月六日生
本命星 三碧木星
月命星 一白水星

第一掛りは時の乾宮から月の乾宮六白に掛り大凶
第二掛りは日の震宮から年の震宮五黄に掛り大凶
第三掛りは年の坎宮から日の坎宮一白に掛り大吉
第四掛りは月の震宮から時の震宮九紫に掛り大吉
これらの判断を第一掛りでは六白をスポーツとしてみますと大凶ですので、

過去には苦労があったと思われれます。第二掛りでは震宮五黄で大凶。第一と同じ過去を判断すると出るに出来ない事があつたと思ひます。第三掛りでは坎宮一白で大吉。第四掛りでは震宮九紫で大吉で良い関係となり、将来はどんどん進出し名声が上がると思ひます。名声は九紫ばかりでなく、震宮の雷の象意で雷は千里四方に轟くと言われるように、新しい事をして

将来有望視されると判断できます。以上お二人を簡単に判断してみました。

質疑応答

【質問】本命星と月命星を出していますが、成人も子供も全て本命星で判断するのでしょうか。

【答】月命星を出すのは、節入りの前後を調べ、本命星の確認をする為で、成人も子供も本命星で判断します。

以上、牧野有峰先生のご講演でした。短時間の中でしたが、資料もお持ちください。勉強させて頂きました。有り難うございました。

第二部「老後と認知症」
中医栄養士・現代養生
食介護食アドバイザー

黒江真帆先生の「ご講演



皆様は、常に頭を使い時間と空間の中でスイッチを入れておられるので心配は無いのですが、鑑定の依頼を受けた時にヒ

ントになることができれば良いと思います。私は四世代の中で育ち高齢とか介護又認知症に抵抗がなく、父が医者でしたので具合が悪くなっても寝たきりになっても、自宅で手の空いた時に皆で介護する家でした。祖母は、二十年寝ていましたが、違和感がなかったのです。介護は、こうでなければいけないとか、家で診るのが一番とか、病院はこういう所が良いとかではなく気持なのだということがあります。介護される方の病状と容態が一つ、介護する方の状態もいろいろですから決りはなく自分のできる限りの中でやるということが最善策であります。では資料から、日本の総人口は二〇〇五年から減少、二〇一五年から世帯数も減っていきだろうと言われていきますのに、高齢化は進んでいます。資料表(一)のグラフでお解りのように一九七〇年から高齢化社会に入り、現在は少子高齢化という言い方をします。介護とかいろいろの言葉が当り前のように入ってきますが、行政用語で一九六三年に使われ

始め、介護保険は二〇〇〇年に導入されまして、五年に一度見直しされてどんどん変更されております。一番の問題は、現在お年寄り一人に対して若人3.3人が支えていたのが、二〇五五年には一対一だろうと言われていいます。(厚生労働省)しかし落とし穴があると思うのは、支え手を何歳からとしているかということ。十五歳〜六四歳の人が、六五歳以上の人を支えるということなのでこの数値からではもつと早く一対一がきてしまうのではないかと考えてしまいました。介護は暗いイメージと思いますが、自分と介護される方の信頼関係がなくなるような介護はいけないと思います。マニユアル本のように絶対というのではなくて、いろいろなケースがあり同じケースは一つも無く良い信頼関係と安心関係で、介護する方される方の良いリズムですることが良く、介護本に左右されないことです。介護の三要素は、目と口と手で、見守っている目、声掛けする口、手を貸す手。入浴でも食事でもどんな介

護にもこの三要素が大切
【一】認知症について
認知症の前は、痴呆症と言っていて痴呆は屈辱的言葉ではないかと改正され認知症となりました。住み慣れた地域で皆で見守ろうと変わって、地域ネットワークが今のテーマです。二〇一二年は団塊の世代の人達が六五歳以上になり、高齢者の半数が介護を必要とし二〇一五年は三百万人を超すとされています。良健忘と悪性健忘ですが、資料の表(2)を参考にしてください。主に生活に支障ありは、できていた事が全くできなくなつた時が判断の目安です。そのような時は、女の人には旧姓を聞いておく。男の人には郷里を聞いておく。徘徊の時などに、地域が協力しやすくなり、ねると必ずと言うくらい旧姓で答えますし、男の人には保守的ですので郷里は覚えていて電車に乗ることを普通にできてしま

うからで、捜しやすいからです。アルツハイマー型は、五十歳〜六十歳を若年性、行政的介護保険を使えるか使えないかの問題で六五歳前を若年性、六五歳からはアルツハイマー型認知症。脳の委縮から始まり個人差はありますが数年で進行します。現在は一種類です。進行を遅らせる薬ができました。次に多いのが脳梗塞。脳血栓からくる認知症ですが、麻痺や言語障害など部位によっての障害で全体に出ないので、リハビリで治つてくるのですがこれを機に発症する人がいます。生活習慣に気をつければ予防できます。レビー小体型は、一九九〇年にみつか

り、特徴としてはアルツハイマーにプラスして、パーキンソン病のように身体が左右に揺れたり転倒もします。アルツハイマーと違うのは、幻覚を見ることです。前頭側頭型は、六十歳前に発症し人格の変化が出て例えば万引きなどの、社会的不利益を被るような症状が出てきます。では、これらの症状と経過については、表(3)を参考にしてください。診察はどんな時に行くか、何処に行くかですが、見当識障害の中では、90%時間が解らなくなり場所、人物の見当がつけられなくなります。又メモを取った事を忘れ、何処に置いたかを忘れ、話した事を忘れ、約束したことを忘れるようになったら診察に行つた方が良いでしょう。自分の失敗を言いたくなく忘れた事などを上手く言い訳して自分を取り繕うとするのが特徴で、見極めが難しいこともあります。夏なのにセーターを着るとか、毎日風呂に入るのを面倒くさがり正確な言い訳をしたりします。又本人が自分を追い込み般に籠つたり感情の起伏が激しくなったり、睡眠ができなくなる等が重要なポイントで、この時期が介護する介護される双方のリズムができ、楽しく介護できる時期でもあります。失認では自分の顔を忘れてしまいがたり真をみても自分であることが解らなくなつてしま

う。親子の区別がつかなくなる。そんな時に旧姓で呼ぶと返事をします。認知症の人が入院したら、自分の判断でプザーを押せるのが最低ルールになるのですがそれもできず、検査の指示にも従えなく

なり健康管理が非常に大変で暑い寒い等の訴えができませんので、血液検査等数値でチェックしてもらうことが一番です。食欲無く起きてこない時は検査に行く方が良いでしょう。介護する側が「ちょっと待ってね」とかの抽象的言葉は避けるべきで「ちょっと」の間隔が解らず行動してしまいます。

【認知症とコミュニケーション】

コミュニケーションとはラテン語で解り合うことの意味です。言語で解り合うことですが、言葉に頼ることは非常に難しいです。パラ言語（言葉の表情）で身体の表現の三つから、音声言語はデータから7%、言葉のリズム、テンポの変化からは、38%、身体の身振り手振りからは55%で、身体表現が90%を超し言葉は7%。何故7%なのかは、言葉は自分を守る為に偏るので難しく、事実と感情が両方入るので心に寄り添って気持ちを汲み取ることが一番です。

「傾聴がポイント」とは三元素の受容・共感・自己一致があり、心理カウンセラーで現在使用し

ています。その他にアイコンタクトや頷きが大切と言われています。認知症は、置かれていた環境で一番馴染んだ言葉が出てきますので共感が大切です。対策と注意では、初期から中期が大切で、余り怒ったりしますと凶暴になることがあり、初期の段階で解れば優しく接することができ、最後迄本人が穏やかに日々を送れると思います。子供の虐待と同じで、介護している方が憎しみを持つたことがあるというのが3%。虐待は16.4%。認知症の場合は声のイントネーションが大切で、五感が鋭くなっていますから、本能的に嫌な者を見分けま

すので、荒々しい言葉や語尾を強くしない、大声を出さないとか初期の頃から大事で、優しく接しているとなかなか人格が多く出てくる可能性があるのでデータもあります。非日常的な事が起こったら問題で、同じ物を買いだんだり、ちぐはぐな料理を作ったりします。快と不快でイメージは残っているの、忘れても良いから快をどんどん蓄積す

ることで安定に繋がってくると思ってください。脳が病んで脳が言わせている、心は病んでいないので心は解っていると思っただ方が良いと思います。

【高齢者の「健康運」も食にあり】

個人差が大きい高齢期としては、体調症状などそれぞれ抱えている問題が違うので、サプリや漢方などには注意が必要で、血液サラサラの薬には青汁は否です。認知症になる、ならないに関わらず歯はしっかりと治療しておくことも大切です。

唾液の重要性
唾まないと唾液は出ません。一日に平均1.5〜2.0は殺菌効果があるので、口の中の衛生を守る役目をします。又歯を治し良く噛むことで、内臓に負担をかけず脳の活性化にもなります。食物は小さく刻むより大きく切つて軟らかく煮ることが重要です、若い人は軟らかい物ばかり食べていると頤も発達しなくなり、しっかりと噛むことができず、ドライマウスになり口呼吸をして菌が入り、風邪やアトピーや花粉症になっ

たり身体に影響します。食は脳で味わっている！食べ物には口で味わうが実は脳で味わっています。手の動きも脳で指示されていて、手は第二の脳と言われています。味覚も脳に伝達されていて感知します。食事の時は難しい話はしないで楽しい話が噓せ防止にもなります。

【見送りと思うこと】

予防策は「こうしき」こは交流、うは運動、しは食事、きは休息です。漢方では、旬を頂き腹八分目が良く水分を小まめにとること。何を食べるかでなく誰と楽しく食べるかが大切で、食べたらず出すこと、排泄が大切です。

合わせ鏡
介護はクールな顔で行う。余り動揺しないで笑顔で行う。笑うと笑う。怒っていると不機嫌になります。

「笑い」は最大の防御
笑っていると良いペースで楽しい介護になります。初期と中期は、なかなか楽しい介護はできにくいですが、私の場合は最後の四〜五年は豊かな心で

接することができました。ゆずり葉の法則？
ゆずり葉の歌に、枯葉となり舞い落ちて親の葉は樹木の根元で、子供達の為の肥やしとなり……とあります。自分の体調が悪くなった時に両親が急変して亡くなった時に自分が支えていたというの大きな勘違いで、ゆずり葉の歌のように、自分が支えられていたのだと思いました。

質疑応答

「ヘルスイージングより「ポジティブに考えたら人間も自然の中の一員であるからアンチエイジングより、ヘルスイージングが大切であると思うのです。」

【質問】脳梗塞を起こして半身が不自由なのに、自転車に乗り怪我をしてしまったのですが、何で転んだのか解らず、痛がらないのですが……

【答】認知症になると痛みが鈍化して解らなくなりますが、気を付けてあげてください。

【質問】暑くても寒い寒いと言るのは何故でしょうか。

【答】低血糖がもしれま

せん。また、食べる量が少なくなり低栄養が低血糖かもしれないので、血液検査等のデータをとって対処した方が良いでしょう。低血糖なら角砂糖などを食べさせると、身体が温まります。

【質問】レントゲン撮っても異常が無いのに、痛いと言っていてデイスリーブに行きたがらないのです。

【答】家に居る方が居心地が良いのか、面倒臭くなっているとか複合的な問題があると思います。

以上、黒江先生のご講演でした。長い時間今回もテンポの良いお話と優しいお顔で、ご丁寧な講演を有り難うございました。感謝申し上げます。

第三部「易と気学による運勢判断」
有宵会会長福田有宵先生



本命 八白土星
月命 九紫火星

六月は、本命と月命が対沖。このような時は、どうしようかと思う問題があります。精神的な要素が、水火既成 九五。既成は、難しく考えず今の通りで良く常識的で良い。手をつけることがあれば、月の前半が良く、後半は用事が出てくるでしょう。

七月 乾为天 九一一

元気が出る。やる気が出る。一生懸命やろうとするテーマがあるが、自分だけで飛び出してはいけない。仲良くやること。健康面では、足元に注意。

本命 七赤金星
月命 六白金星

六月、本命七赤は良宮に同会、七月は離宮に同会。家庭の中の事や今している事を続けていく。体調は疲れやすく足腰に注意。七月は、話し方がきつくなりストレートに言ってしまうので要注意です。

六月 風火家人 六四

良宮と同じ意味で、気学も易も共通する部分があり不思議です。易は砕いて

て奥行がでます。家人では自分が中心になり、家を束ね優しさが必要です。七月 風地觀 六三

観ると言うこと。何をみるか、何で見るかで目と心で見ること、話を聞く、聞き役に徹すること。家族との話や家の片付け、芸術を鑑賞するなどして心が安定します。

本命 八白土星
月命 二黒土星

六月、八白は、離宮に同会、年盤の二黒に同会。月命二黒は、震宮で年盤の五黄に同会し、問題を抱えるが内に籠らないことです。

六月 山沢損 六五

書類の問題等、自分で紛失することがあるので、注意が必要です。

七月 風水換 初六

問題の見通しがつくとか水に流すとかで、自分が納得する。気学上では、本命八白が坎宮に入り苦労はありますが、知恵を使うこと。健康面では、身体が冷えて風邪をひきやすくなります。

福田先生は今回も全員

の六月、七月の月運を立筮してお持ちくださいました。時間の都合で三名の占断になりました。

有り難うございました。
半田 晴詠



大阪「住吉大社」
御鎮座千八百年
記念大祭

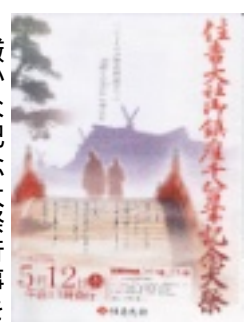
大川 法祥

台風一号が熱低に変わり乍らも、梅雨前線と合流し、夜半に激しい降雨があり、西日本各地に記録的な土砂災害をもたらしています。

三日間で五月分の雨量は観察史上最高とか、この雨が関東、東北方面に向かっていると報じているTVを見乍ら、災害地の方々の苦悩を思いやり胸を傷めております。

今日、雨模様の中、住吉大社へお詣りをしました。御鎮座千八百年目、卯の年、卯の月、卯の日の今日は三百年に一度し

か立ち会うことが出来な
い良き日だったからです。



厳かな記念大祭行事を
目の当りにして、深い感
動に浸る事ができた貴重
なひとときでした。

午前十一時から斎行、
厳肅な奏楽の流れと共に
御幣帛辛櫃及び宮司、祭
員が和傘をさし乍ら静々
と参進、各本宮の座に着
き御幣帛を捧げ祝詞を奏
しました。

その後白拍子の舞いが
神前に捧げられました。



この舞姿を拝している
時、私も少女の頃新潟大
神宮に巫女としておつか
えした事を思い出しまし
た。

夏休みや大祭の前には
舞いの稽古に通ったもの

です。信じてもらえない
でしょうが、檜扇を持ち
一人舞いをしている寫眞
が何よりの証し、私の大
切な宝物です。

その後第一、第二、第
三、第四宮司様それぞれ
に玉串を奉り(住吉大社
の四本殿は西向きに、第
一、第二、第三本宮の三
棟直列、第四本宮は第三
本宮の南側に二棟並列す
る縦並びの独特な社殿配
置をしており「住吉造」
と称され国宝建造物に指
定されています)続いて
各界の名士に交わり市川
団十郎、衆議院議員の中
馬氏も拝礼されました。

悠然と千木高く鎮まり、
日本民族の理想信仰を明
白に造形した先人の気迫
を感じ心引き締まる想い
でした。

「住吉大神の御神徳」
住吉大神は伊弉諾尊が黄
泉国で受けた穢れを取り
去るうとして、筑紫の日
向の橋の小戸の櫛原で禊
祓いを行われた際に出現
された神

この時生まれた底筒男
命、中筒男命、表筒男命
の三柱の神々を総称して
住吉大神と申します。

神功皇后は、住吉大神
の御加護を受け国威を輝
かせられ、この地にお祀
りなされました。

撰政十一年(二二一年)
辛卯歳の卯月上の卯之日
やがて神功皇后も「われ
は大神と共に相住まむ」
と仰せられて、住吉三神
と合せ祀られる様になり
ました。

因みに、仁徳天皇は皇
後の御孫にあたり、浪速
に遷都せられて住吉大神
の導きにより、墨江の
津を開港。

この地より遣隋使、遣
唐使は船出し海外との交
流を深め、大阪や堺の発
展、ひいては日本国の繁
栄をもたらしていったの
です。

大川 法祥



『第四回パンぱか

パンまつり』での鑑定会

森 千紗



社会福祉法人手をつなぐ福祉会しようがエパンズで催される、パンぱかパンまつりに昨年初めて参加させていただきました。今年も六月五日に開催され、占いコーナーで昨年に引き続き鑑定をさせていただく事になりました。

い、社会性を身に付けさせる為の教育を施しています。障害の程度には個人差があるので、全ての人が社会に出て一人立ち出来る訳ではありませんが、こちらの施設からも多くの人を社会に送り出しています。

近年、日本の財政は疲弊し景気は低迷しています。更に本年三月には、東日本大震災が発生し日本経済が一段と悪化する事態は必定です。

その様な状況下での鑑定会でしたので、仕事についてのご相談が多いのではないかと思っております。また、お見えになったお客様が七割くらいの方が仕事の見直し、就職・転職についての問題でして。

その中でお一人の方のご相談内容を紹介させていただきます。ご主人が婦人雑貨のお店を経営されている奥様からのご相談でした。

今年に入って、店舗を増やし従業員も増え会社の事業を拡大しています。が、主人はもつと拡大したいと思っているようです。私は、手をあげず

ぎて失敗したらと思うと怖いのです。今以上に事業を拡大しても問題ないでしょうか？という内容でした。

ご主人様は昭和三十四年六月十一日生まれで、本命五黄、月命七赤の震宮傾斜の方です。

本年、本命五黄は震宮に同会し、先を急ぎたくなる要素を持ちます。震宮傾斜という事を合わせて考えると、もう少し慎重に地ならしをし、先々の事を見据えながら事業を進めた方が安全ではないかと思われました。事業を拡大してよいかで卦を立てたところ得卦は雷天大壮の六五でした。

この卦は強気になって大きなことをすることは不可、また急進することを戒めています。

以上の結果から、奥様には今年のご主人も新しい事に挑戦したい気持ちが出てくる年回りですから、今までとは違った方針をお持ちなのだと思えますが、今以上に拡大する事は大きなリスクを伴いますので、今年も現状維持に努められることをお勧めし、事業の拡大は充分に下準備をしてから

考慮された方がよいのではないかとお話しさせていただきますました。鑑定会ではNPO法人 岳易館・有宵会の一員として参加しているという自覚を持ち、会の趣旨を念頭に入れて対応する様に心掛けています。

今後、一人でも多くのお客様のお役に立てるように精進して参ります。

森 千紗

『福島原発事故についての占筮』

今平 乾象



地震の大きさと、その直後の津波での被害の悲惨さは云うまでもありません。しかし私の育った福島県が原発事故で、大変なことになって久しくなりつつあります。三月十五日、朝六時頃二号機が爆発しました。既に一号機と三号機は水素爆発を起こしていたが、

この二号機は異なる爆発らしく、事態はさらに重いらしいと云う報道がなされました。

三月十六日の午後、事態の推移を見守りながら、『原発事故の今後について、コントロールド下に置かれるや否や』を占的として占筮しました。

坎為水の二爻を得たことの厳しさが今でも驚いています。

四大難卦の一つを得たことで、これは大変なことになるし、コントロールドする方法がなく、長引く結果に至ると予測しました。また坎の水と水が重要な役割をする事も明々白々でした。

この卦を立筮した頃は福田先生から授業で、説卦伝をご教示いただいた時でもあり、内卦の坎が坤に変化するとはどう云う事になるのかと、神経を働かせていたように思いますが、その時のノートには『重大で防ぎようもない災いをもたらす事故であるが、人智を尽くして対処し、時間をかけて対応することで救われる事故である。大事を守る為に小難を甘んじて受け入れる姿勢が最も

大切であること。自他（海外を含めて）の知恵を結集することで事故を拡大することなくコントロールド出来るので、相手を攻めている暇はない』、と記してあり、之卦の『比卦』を含めての占断であつたと思えます。またあまりの原発に対する報道の連続に混乱を感じ取り、『どのように対処すべきか』と云う副卦を占筮したところ、沢風大過の三爻を得ると云う驚きがまたありました。

手も出せない難事の中で事故を処理しなければならず之卦が『沢水困』となり、四大難卦がまた出て来ました。

解決方法を模索しながら努力するという大変な事態になってゆくことを予感させるものでした。ただし、『大過』も『困』もいづれ順調に事が運ぶとあり、『大人』（専門家）に相談することで吉となり災難を免れるとあり、少しほっとしている自分であつたと思えます。すでに五月も末に入り原発問題はまだまだ先が見えない状況です。田舎の福島は、依然として危険地帯からの退避生活が

続いていきます。私は有難いことに易の授業で今度は、雑卦伝を学ぶ機会を与えていただき、『離は火が燃えて上る象であり、坎は水が流れて下る象である』と云う言葉にハッと致しました。三月時点では坎の扱いについて、重要な水として捉えてはいますが、三月の爆発時点で炉の燃料棒が流れ落ち、つまりメルトダウンしていたのだ！と気が付きました。が後の祭りです。『坎』が『坤』にしみ込んでゆく象も何となく観えて来るではありませんか・・・

『観卦法』とは大岳先生も本の中に書いていますが、『占らなおうとする実際の事柄と対応させて、具体的な内容を持たせることだ』と実感致しました。

五月末の時点I A E Aの視察団の来日と合わせるように、新事実の開示が続いています。『東電だ・政府だ・原子力安全委員会だ』とその立場を守る姿勢があまりに多く報道されています。この原発事故を如何に迅速に、そして安全に収束させるかを、まづ優先していた

だきたいと願うものです。
今平 乾象

「左眼に心せよ」
山形・出羽三山旅行

八川 林加

このたびの東日本大震災により、お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。少しでも早い復旧を心よりお祈りいたします。平成二十三年五月、北方位の祐氣取りを目的に山形県の出羽三山にお参りをした時のお話です。今回は、湯殿山・注連寺と大日坊を訪れ、鉄門海上人と真如海上人の即身仏を拝観いたしました。また、羽黒山の二千四百四十六段の階段を登り、出羽三山神社境内でのお水取りと、三神合祭殿で正式参拝を行いました。なかでも、一番印象に残った注連寺での出来事をお話いたします。

出羽三山は、月山・羽黒山・湯殿山の総称で、山岳修験の霊場として信仰を集めています。神仏習合時代には本地垂迹の思想から、羽黒山は観世音菩薩、月山は阿弥陀如来、湯殿山は大日如来を本地

仏として長い間信仰されてきました。三山の役割は、月山が過去を清めて来世への極楽浄土を祈り、羽黒山で現在利益を祈る。そして最後に湯殿山で再び未来に生まれ変わるといふ死と再生の信仰が根幹になっています。明治の廃仏毀釈以降は、三山に祀られているそれぞれの神社を総称して出羽三山とする方が一般的です。特に本年は月山卯年御縁年にあたり、特別な年回りで、出羽三山には、湯殿山の五年御縁年と月山の卯年御縁年があり、御縁年に参拝をすれば、特別な御利益を授かるとされています。

しかし、これまで福島県以降北の東北は、遠方のため御縁がないまま今日までできておりました。そんな時、福田先生から「山形には即身仏があるよ。」と、思いがけないお話がありました。

ソクシンブツ

この謎のベールに包まれた言葉と、福田先生が旅行のためにお示しくくださった占断メモが出羽三山への道しるべとなりました。



【福田有宵先生の占断】

「羽黒山参り全般」
水天需 初九

道路は以外と混雑して時間がかかる。他はどのようなことがあるか、自分自身で考えること。

「即身仏」
雷火豊 九四

即身仏とは、即身成仏のこと。仏の目を見る。九四だから特に左目を見てくること。また、仏の声を聞くこと。左目が何を訴え、仏の声とは何かじっくり考えること。

「湯殿山神社 本宮参拝」
火雷噬 六三

未だ開山に間に合わない。湯殿山神社本宮への参拝は予定から外す。自宅から山形庄内地方の方位は北方位です。本年の年盤は辛卯・七赤金星中宮年で、坎宮（北方位）に三碧木星が回座し、月盤は癸巳・五黄土星中宮

月で坎宮に一白水星が回座していました。旅行初日の湯殿山へ向かう日盤は、癸酉・四緑木星中宮日で、坎宮に九紫火星が回座しました。また、二日目の羽黒山参拝は、甲戌・五黄土星中宮日で坎宮に一白水星が回座していました。今回は、それぞれの要素が入り混じる状況でしたが、可能な限り吉方位に進路を取るため、出発は関越道から新潟を経由して山形の庄内地方へ入るルートを選択しました。出発が深夜だったこともあり、高速道路での混雑はありませんでした。

大変申し訳ございませんが紙面の都合上九月号に本文を掲載させていただきます。編集長

事務局だより

暑中お見舞い申し上げます。

次回の例会

九月二十四日（土）
午後一時十五分より
『足立区こども家庭支援センター』にて

講演 菅原有恒先生
続 書道と筆相
について

福田有宵先生
月笠の説明と解説
有宵会 研修旅行
場所 1 南方位房総
2 北方位日光

どちらかに検討中
日時 十一月中旬予定
費用 三万五千元
詳細は後日お知らせ
致します。

暑さに負けず元気に夏をお過ごしください。
五月の例会には六十六名の方が参加されました。

事務局長 伊藤璃香



編集後記

皆様方からの原稿をお待ちしております。